



2004年9月 ヘラシギ幼鳥 夢洲



2016年4月 ヘラシギ成鳥 足環にMA文字 泉大津市(右ハマシギ)

■ヘラシギ 英名：Spoon-billed sandpiper 学名：*Calidris pygmaea*

環境省レッドリスト 絶滅危惧 IA 類 (CR)

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）「国内希少野生動植物種」指定

■全長 14 - 16cm ■鳴声 プリー 名前のとおりヘラ状のくちばしが特徴の小型シギ

繁殖地：チュクチ半島からカムチャツカ半島にかけてのロシア北東部

越冬地：タイ・中華人民共和国南部・バングラデシュ・ベトナム・ミャンマーなど

日本には、旅鳥として、春と秋に海岸の砂浜、干潟、埋め立て途上地などに極めてまれに飛来。最新の世界での総個体数は 400 羽前後と推定され、絶滅の恐れが最も大きいシギである。大阪湾岸では 40 年ほど前には、春と秋にトウネン（ヘラシギと同大の小型シギ）の群れの中に少数が時々観察できたが、2000 年以降大きく数を減らし、近年は観察できる機会がほとんどない状況となっている。

夢洲では、2002 年から 2006 年の間に毎年秋に 1 羽から 3 羽のヘラシギ（すべて幼鳥）が飛来。大阪で最も新しい記録は、2016 年 4 月に泉大津市の埋立地に飛来した成鳥 1 羽。※この個体は、ロシアでの保護プロジェクトにより、2013 年に人工孵化したオス個体であることが足環（白いワグに MA の文字）から判明（上写真）。



2018年9月 カラフトアオアシシギ幼鳥 泉大津市



カニを捕食するカラフトアオアシシギ

■カラフトアオアシシギ 英名：Nordmann's Greenshank 学名：*Tringa guttifer*

環境省レッドリスト 絶滅危惧 IA 類 (CR)

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）「国内希少野生動植物種」指定

■全長 29-32cm ■鳴声 ケー

繁殖地：サハリン、アムール川河口周辺、カムチャツカなど

越冬地：マレー半島、スマトラ島、タイ、バングラデシュなど

日本には、旅鳥として、春と秋に海岸の干潟、埋め立て途上地などに極めてまれに飛来。世界での総個体数は 1000 羽以下と推定され、ヘラシギと同様絶滅の恐れが最も大きいシギのひとつ。カニ類を好んで食べる。

これまで大阪では秋季の幼鳥の記録が多かったが、2019 年 5 月に南港野鳥園で夏羽個体が記録されている。